

DX 現場実践研修事業 先端技術実用化支援事業

公開セミナー

『匠の技を科学する：熟練者の『勘』を定量化し、次世代へ繋ぐフィジカル AI への挑戦』

主催：由利本荘市 にかほ市 公益財団法人本荘由利産学振興財団

共催：秋田県立大学 HYper Net Akita 秋田県産業技術センター

にかほ市工業振興会 あきた AI・IoT 技術互助会 由利本荘市商工会

にかほ市商工会

本セミナーでは、熟練者の「勘」や「暗黙知」をデジタル化し、次世代のフィジカル AI への発展を目指す取り組みを紹介します。

農業分野では、果樹の 3 次元モデルやスマートグラスを活用し、ベテラン農家の剪定・摘果の判断を定量化する事例を取り上げます。

また、建築分野では、鉋（かん）掛けにおける熟練大工の視線・動作の計測を通じ、経験に頼るとされてきた匠の判断を可視化する試みを解説します。

高度な技能をデータ化して AI や VR に組み込み、技能継承という社会課題を解決する最前線をお話します。

日 時：令和 8 年 9 月 17 日（木曜日）13:30~16:30

場 所：秋田県立大学 本荘キャンパス AVホール

定 員：200名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：無料

申込み：別紙「参加申込書」にご記入の上、電子メールまたはFAXにてお申込みください。

◎プログラム

【13:40~14:50】セミナータイトル 『ベテランの技を未来へ—AI と VR が拓くスマート農業』

秋田県立大学 情報工学科 教授

石井 雅樹 氏

内 容：果樹栽培の剪定や摘果は機械化が難しく、長年の経験による「暗黙知」に依存しています。熟練者の高齢化が進むいま、初心者が失敗を恐れずに学べる仕組み作りが急務です。本講演では、果樹の 3 次元モデルの比較による剪定技術の定量化手法や、スマートグラスで秋の収穫時の姿を疑似体験しながら摘果技術を学べるシステムを紹介します。現場の知恵と先端技術が融合したスマート農業の未来をお話します。

【15:00~16:10】セミナータイトル 『匠の技は伝えられるか—技能継承のこれからのカタチ』

秋田県立大学 建築環境システム学科 助教

大塚 亜希子氏

内 容：熟練大工の「勘とコツ」は、経験で身につく暗黙知といわれてきました。職人の高齢化が進むいま、その技をどう次世代へ繋ぐかは、秋田の木造建築を守る待ったなしの課題です。本講演では、熟練大工の視線や身体の動きを計測し、「匠の目は何を見ているのか」を科学的にひもといた研究を紹介します。データが映し出す匠の技と技能継承のこれからのカタチを、映像を交えてお話します。

本セミナーは、フィジカル AI のシステム構築そのものを解説する技術講座ではありません。AI が学習するための土台となる、熟練者の「勘」や「暗黙知」をどのように計測・定量化し、デジタルデータへと翻訳するかという「準備」と「考え方」に焦点を当てた内容です。

公開セミナー 参加申込書

※令和 8 年 9 月 14 日（月曜日）までご返信ください

FAX 0184-23-7460 E-MAIL info@hy-sangaku.or.jp

[illegible]